

8:31 ある人が隣人に罪を犯して、のろいの誓いを立てるよう求められ、この宮の中にある、あなたの祭壇の前に来て誓うなら、
8:32 あなたご自身が天でこれを聞き、あなたのもべたちにさばきを行って、悪い者にはその生き方への報いとしてその頭上に悪を下し、正しい者にはその正しさにしたがって義をもって報いてください。
8:33 あなたの民イスラエルが、あなたの前に罪ある者となって敵に打ち負かされたとき、彼らがあなたに立ち返り、御名をほめたたえ、この宮であなたに祈り願うなら、
8:34 あなたご自身が天でこれを聞き、あなたの民イスラエルの罪を赦し、あなたが彼らの先祖にお与えになった地に、彼らを帰らせてください。
8:35 彼らがあなたの前に罪ある者となって、天が閉ざされ雨が降らなくなったとき、彼らがこの場所に向かって祈り、御名をほめたたえ、あなたが苦しませたことによって彼らがその罪から立ち返るなら、
8:36 あなたご自身が天でこれを聞き、あなたのもべたち、あなたの民イスラエルの罪を赦してください。彼らの歩むべき良い道を彼らに教え、あなたの民に相続地としてお与えになったあなたの地に雨を降らせてください。
8:37 この地に飢饉が起こり、疫病や立ち枯れや黒穂病、いなごやその若虫が発生したときでも、敵がこの地の町々を攻め囲んだときでも、どのようなわざわい、どのような病気であっても、
8:38 だれでもあなたの民イスラエルが、それぞれ自分の心の痛みを知って、この宮に向

かって両手を伸べ広げて祈るなら、どのような祈り、どのような願いであっても、
8:39 あなたご自身が、御座が据えられた場所である天で聞いて、赦し、また、かなえてください。一人ひとりに、そのすべての生き方にしたがって報いてください。あなたはその心をご存じです。あなただけが、すべての人の子の心をご存じだからです。
8:40 そうして、あなたが私たちの先祖にお与えになった大地の上で彼らが生き続ける間、いつもあなたを恐れるようにしてください。

ソロモンは、この神殿において主が働いてくださるように、具体的な祈りをささげました。祈りは具体的な方が良いのです。主にお願いするので、自分でも何を願ったのか、それがかなったのかどうか分からないような願いでは、主に期待しているとは言えないでしょう。また、その祈りによって、信仰が強められて主に従ったり前進したりということはできないでしょう。

祈りは具体的に、明確にしましょう。そして聞かれたら、はっきりとした思いで感謝しましょう。またそれは主の証しですから、明確なわざとして分かち合いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

